

「核兵器廃絶のアピール：古都京都から世界の人びとに訴える」への

# みなさまの賛同をお願いします

すっかり春めいてまいりました。みなさまにおかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、別紙のように、京都に関わる著名な 16 氏（第一次）の方々が「核兵器廃絶のアピール：古都京都から世界の人びとに訴える」を發表しました。

被爆から 70 年。日本は、この 70 年間に、広島・長崎、ビキニ、福島と、核兵器と原発事故による核被害を体験する国になりました。

今年に 5 年に 1 度の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議がニューヨークの国連本部で開かれます（4 月 27 日～5 月 22 日）。前回（2010 年）の NPT 再検討会議では、世界の 189 の国々が核兵器のない世界を実現することに合意しましたが、残念ながら核兵器保有国の抵抗で合意の実行はほとんど進展していません。今年の NPT 再検討会議の最大の焦点は、合意の実行＝核兵器禁止条約の交渉開始です。核兵器は「非人道的」兵器であり、国家の安全保障の問題ではなく、人類の生存に関わる問題として廃絶すべきという流れも大きく広がっています。

広島・長崎を体験した唯一の被爆国民として、恒久平和と戦争放棄をうたった憲法を持つ国民としてはもちろんのこと、京都は原爆投下の候補地の一つであったこと、そして日本人最初のノーベル賞を受賞された湯川秀樹博士が核兵器廃絶を世界に訴えた都市でもあることを思うと、古都・京都から NPT 再検討会議にむけて、核兵器廃絶を世界に発信することは、たいへん意義があることではないかと思えます。

つきましては、京都から核兵器廃絶を世界に発信する 16 氏（第一次）の「アピール」に、みなさまのご賛同を心からお願いするものです。「アピール」への賛同につきましては、裏面のファックス用紙又は同封いたしましたハガキにて、3 月 31 日までにご返信頂きますようお願いいたします。誠に恐縮ですが、募金にもご協力をお願いいたします。（振込用紙は実行委員会参加団体のものをお借りしました）

なお、「アピール」は、賛同者の一覧とともに核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけた核兵器廃絶ニューヨーク行動に参加する 50 人を超える京都の代表（4 月 25 日出発）に託し、核兵器保有国をはじめとした各国の政府や国連、世界の NGO に届けます。

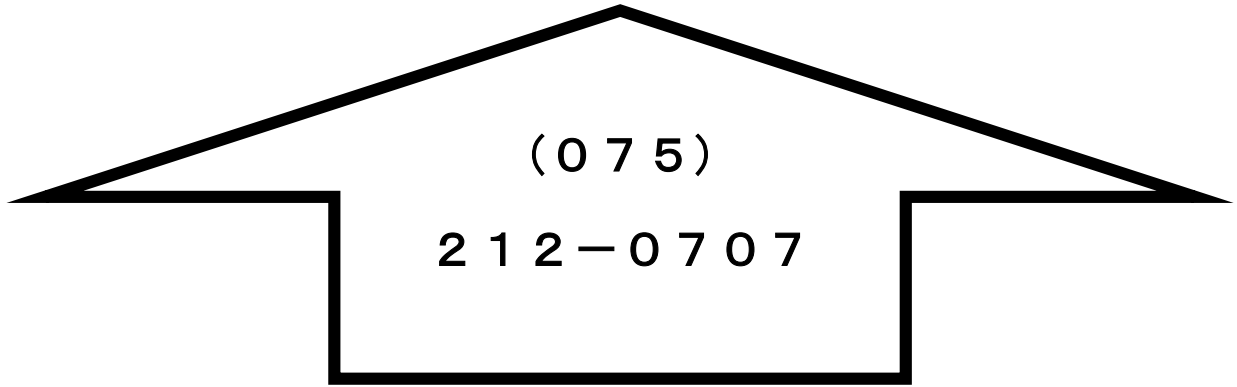
2015 年 3 月 12 日

「核兵器廃絶京都アクション 2015」実行委員会

アボリション 2000 京都、京都宗教者平和協議会、日本科学者会議京都支部、平和友の会、原水爆禁止京都協議会、反核京都産業人の会、京都原水爆被災者懇談会、京都被爆二世・三世の会、非核の政府を求める京都の会、反核京都医師の会／IPPNW 京都府支部、京都府保険医協会、京都 YWCA、京都 YMCA

【事務局】反核京都医師の会／IPPNW 京都府支部

〒604-8162 京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637 インターワンプレイス烏丸6階  
京都府保険医協会気付 TEL 075-212-8877 FAX 075-212-0707



## 核兵器廃絶京都アピールに賛同します

氏名公表の可否（どちらかに○を）

公表してもよい

公表できない

〔氏名〕 \_\_\_\_\_

〔肩書・役職など〕 \_\_\_\_\_

〔住所〕 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

一言メッセージ